

**暑中お見舞い申し上げます**

6月12日～21日まで6月議会が開催されました。今議会で、76年ぶりに「保育士の配置基準の見直し」が実現しました。安心・安全な保育環境を求めた保育現場や保護者からの強い要望でした。しかし、0歳児、1・2歳児の見直しまでには至らず、引き続き声を上げていく必要があります。今回の見直しで、福岡市では**新たに220人の保育士が必要**とのこと。これまでも保育士不足は社会問題となっていますが、改定に伴う保育士の確保が今後も大きな課題となりそうです。そのためにも、保育士の処遇改善を求めているかなければなりません。

福岡市議会議員 いけだ良子

認可保育園での保育士の配置基準	
年 齢	保育士1人当たりがみる子どもの人数
0歳児	3人
1・2歳児	6人
3歳児	20人→15人へ
4・5歳児	30人→25人へ

6月定例議会 一般質問**あいれふ会議室に替わる研修室の整備を！**

あいれふ利用者	
2023年度 全館	61,549人
廃止される講堂・研修室・和室	23,916人(約39%)

前身の婦人会館の時代から**あいれふ**(福岡市健康づくりサポートセンター)研修室は、**多くの女性団体や市民の方々の学習の場として活用**されてきました。しかし、保健所機能の一元化で福岡市保健所があいれふに設置されることに伴い、2月より講堂、3つの研修室、和室が順次廃止されました。女性団体に留まらず多くの市民から、「あいれふだけでなく、市民センターの研修室も確保が難しくなった」と、研修室が足りていない声が届いています。(各施設の利用人数と利用率を明らかにした結果が以下の表です。)

男女共同参画推進センターアミカス 視聴覚室・研修室	
2023年度 利用者数	28,467人
利用率	71%

	利用人数	利用率
東市民センター	49,669人	59%
博多市民センター	49,832人	55%
中央市民センター	54,142人	71%
南市民センター	38,854人	53%
城南市民センター	31,251人	44%
早良市民センター	56,765人	72%
西市民センター	50,211人	58%

利用希望は、一定の曜日・時間帯に集中することから、アミカス利用率71%といっても、29%の空きがあるわけではありません。現に、各種団体からは3～4月の総会を行う会場が市民センターでも取れないと悲鳴の声が上がっています。

今ある研修室は限られており、利用率の高い中央市民センターは来年10月から1年半余り改修工事のため使用できなくなります。このままでは市民の**「学習難民」**を生み出しかねません。**あいれふ1階のスペースや市民センターの改修時**

に**研修室を増設**するなど、あらゆる手段を用いた研修室の整備を求めました。

**ギャンブル等依存症の理解促進、相談窓口の周知を！**

5月13日～20日までは、「ギャンブル等依存症問題啓発週間」で、市政だよりの掲載やあいれふでパネル展が開催されました。

ギャンブル等依存症とは、「ギャンブル等のにめり込みやめたくてもやめられない、自分でコントロールができなくなる精神疾患です。ギャンブル等依存症は借金の問題だけでなく、うつ病の発症などの健康問題、さらに自殺などの社会問題を引き起こすこともあり、日常生活や社会生活に支障を生じることがあります」(福岡市HPより引用)と、WHOでも認められた病気です。しかし、未だ「ダメ人間の問題」「意志が弱い」「親の育て方が悪い」「一攫千金を狙う怠け者」などと性格の問題といった誤解がまん延しています。そのことが、**本人にも家族にも相談・治療をためらわせ、様々な事件を引き起こす**こととなっています。

いけだ ギャンブル等依存症の理解と啓発、相談窓口の周知など積極的な取り組みを求める。

答 弁 身近な相談窓口は各区健康課。専門相談は精神保健福祉センターで電話や面接相談を実施。



いけだ 「ギャンブル依存症問題を考える会」の調査では、**ギャンブル開始年齢が18歳～20歳**が最も多く、次いで15歳～17歳であることから、**市立高校でギャンブル等依存症防止教育の必要性がある**と考える。

答 弁 学習指導要領に基づき保健の授業で指導している。

いけだ 防止教育とは言い難い！

答 弁 外部講師の招へい等について、今後検討していく。

ギャンブル等依存症者163人に対する、ギャンブル開始年齢	
年 齢	人 数
12歳未満	7
12～14歳	9
15～17歳	49
18～20歳	73
21～23歳	13
24～26歳	8
27～29歳	1
30歳以上	3
合 計	163

保育所入所要件の就労時間「60時間／(月)以上」を緩和すべき！

保育園は、本来、就業等のため**家庭保育が困難な家庭**の保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的としています。しかし、昨今の子どもを取り巻く社会情勢から、就労していなくても通院や冠婚葬祭、親のレスパイト(休息・息抜き)など、保護者の立場からの必要に対応した「一時預かり」事業など、保育園の役目も変化してきました。6月5日、「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」が成立し、**親の就労を問わず保育を利用できる「こども誰でも通園制度」**が全国各自治体で始まることになりました。



	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	合計
入所保留児童	307人	189人	109人	205人	56人	99人	121人	1,086人
欠員人数	529人	210人	203人	320人	164人	307人	551人	2,284人

福岡市では、本年7月1日から、市内32か所の保育施設で約1,000人を対象に始まります。本事業は、**空き定員や空き部屋を活用**するとしていますが、一方で、福岡市は昨年度当初は、**待機児童ゼロは達成**したものの、希望する園への入所に至らなかった**入所保留児童は解消していません**。現在、保育園には全市で2,284人の余裕がありますが、希望する保育園に入れない児童は1,086人です。保護者ニーズと保育数のマッチングができていないという課題があります。

「誰でも通園制度」は、**利用要件は問わず月最大40時間利用**できますが、福岡市の保育所に入所する就労時間の要件は、**月60時間以上の就労**となっています。

パートなど就労時間が60時間未満の方は、入所できず一時預かりなどのサービスを利用しています。利用料金の負担軽減と、仕事と育児の両立支援のために、**入所要件60時間以上の緩和**を求めました。



認可外施設等一時預かり利用料	
	1時間当たりの利用料
3歳未満児	600円
3歳以上児	500円

保育所入所要件(政令市)	
福岡市・北九州市	60時間以上
熊本市	52時間以上
広島市	30時間以上
京都市・大阪市	48時間以上
川崎市・横浜市	64時間以上

所属機関・団体

- ◎教育子ども委員会 委員
- ◎少子・高齢化対策特別委員会 委員
- ◎大都市税財政制度確立推進協議会 委員
- ◎(公財)福岡市教育振興会 評議員

いけだ ギャンブル問題の多くは、借金や多重債務、横領や解雇などが問題となって表面化する。ギャンブルに賭けるお金に困った人の中には、児童手当にまで手を付けるといった話も聞く。児童手当がギャンブルに使われているケースがあることを把握しているか。

答 弁 相談を受け、把握した例はある。

いけだ 父母ともに同居している場合は、家計の中心になっている方が請求者となり、多くは年収の高い夫に振り込まれている。夫が児童手当をギャンブルに使い、本来の目的である子どもの養育に使われない場合、**児童手当の受給者を家族が選ぶことができる**ように、「児童手当法第4条3項」の改正を国に求めるべき。

答 弁 個別事案については、**聞き取りや申立書などにより、生計中心者を判断**しており、引き続き国の法令等に基づき**適切に対応**する。



〒819-0043
福岡市西区野方2丁目13-3
tel:092-812-3447 fax:092-812-3449
http://www.ikedayoshiko.com
nukumori_anshin06@yahoo.co.jp

**いけだ
良子
事務所**